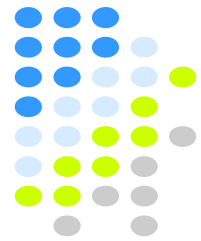


とっとり・グローバルウオッチ

とっとり貿易支援センター情報誌



2011年2月10日

VOL. 51

現地発！台湾月刊レポート 44 2011年度、台湾での注目企業

二度目の明けましておめでとうございます。台湾は今年、2月3日が正月。日本でいう旧暦正月（以下、春節）だ。

明治時代に一夜にして旧暦（太陰太陽暦）を捨てた日本では、新暦（グレゴリオ暦）の1月1日過ぎ、正月後に厳寒の冬が来る。年賀状等、冬に向かうのに初春と書く矛盾した関係に違和感を覚える。私も台湾に来るまで旧暦を意識したことがなかった。しかし旧暦を意識し始めると、身体と自然のリズムが一致する。春節が開けた2月。やっと寒さも緩み、春の訪れを感じると思う。



上の写真は、2月3日の台北行天宮の深夜0時の元朝参り。安静の中、粛々と春を迎える祈りが執り行なわれた。その後は、日本と同じく参拝客で溢れかえり、いつもの台湾になった。

■新春特集で台湾経済を占う

さて、台湾の新聞・雑誌では、新春特集

が組まれている。今年の台湾経済を占うのに貴重な材料になると思うので紹介したい。まず、春節当日の新聞一面から。日経にあたる「経済日報」は二本立て。「経済復活。全世界の株式市場は高峰に登る」。そして「インフレ抑制。中国大陸は、今月利上げの可能性。」別冊は、十二支の運勢大解析。経済誌に、占い。



「中国時報」は「大晦日三十人に宝くじで100萬元(280万日本円)が当たった」

「自由時報」は、一面にマンション広告記事。と思ったらそれはカバーで、本当の一面は「非常無理 台湾国籍犯人中国へ移送」。台湾はフィリピンの事を「菲律賓」と書き非と非を引っ掛けている。フィリピン政府が、台湾人犯人を中国大陸へ引き渡したことで、台湾の主権をみとめないのか、と憤っている。

「聯合報」も同様に「抗議！私たちの台湾人犯人14人をフィリピンは大陸に渡した」と、台湾がフィリピンとの交流中断・停止を考慮、とフィリピン駐大使に抗議したことをトップにしている。また台北阪急百貨にて福袋を求める客が徹夜して並んでいる写真を掲載。日本の正月風物詩が台湾でも。別冊は、建国100年兎年、100年の廟（寺）特集。お参りの仕方が書いてある。今年も、台・中経済、台湾の主権問題が主題だ。

日本のダイヤモンド等にあたる台湾経済誌「今週刊」は、今年儲かる台湾株特

目次

現地発！ 台湾月刊レポート 44	P 1 P 2
最新の上海 ～現地レポート～ 35	P 3
鳥取県広州食品商談会 開催について	P 3
お知らせ	P 4

世界の祝日 3月

■韓国 1日 独立運動記念日

集をしている。台湾経済の今年を、どういう視点で見ると参考になるだろう。台湾の有力経済評論家、相場師に儲かる株をズバリ聞いている。本雑誌によると、2010年の台湾を表す言葉は、「悶」であった。リーマンショック以前、「中華航空」は、大陸関連株として推奨されていた。ショック後11元まで下落した。しかし、現在では25.7元まで上がっており、ホールドしていれば大きな利益をもたらすことになった。(私のリーマン以前のレポートにも「中華航空」株を書いた)

■ECFAの影響で台湾経済回復

このように台湾では、株式が大幅回復基調にある。全体の一致した意見として台湾と中国大陸間に発効したECFA(两岸経済協議)の影響が大きい。ECFAについては、以前のレポート(本誌第44号)にも書いたので参照されたい。日本でいう関税の自由化交渉TPPにあたりと考えていただければ良い。台湾と中国の関係が緊密になり、お互いに旅行等行き来することで台湾経済は更に発展すると見ている。今年の最高値は、9000ポイント(本雑誌発行後に超えた)、更には過去最高値の12682ポイントを超えることも予測している。強気だ。

では、「今週刊」発行人の謝董事長から。ECFAとの関連、また資産株として銀行株を推奨している。台湾の不動産景気は加熱しており、多くの資産を持つ銀行系に注目すべきと言っている。注目株は、彰化銀行、華南銀行、第一銀行、合庫等。また、航空株ではなく航空機内食関連の榮剛に注目とのこと。ちなみに、私が借りて住む台湾マンションも6年前2,000万円だったが、オーナーチェンジで売値を聞くと6,000万円になっていて驚いた。

続いて呂さん(投資団体総監)は、今年は買い場であると断言。彼が注目しているのは、ECFA関連の電子デバイス企業。SMT(表面実装技術)の雷科、パネル関連の介面、自動車用電子機器の朋程、体感ゲーム用機器部品の聯鈞を推奨。郭投資顧問は、やはり中国大陸関連を推奨。航空機の長栄(エバー航空)、中華航空。さ

らに大陸との需要が深まるとみる。安全は、歴史ある包装材料企業。台湾大手食品会社とともに古くから大陸に深く浸透している。小売が順調に伸びると予測。

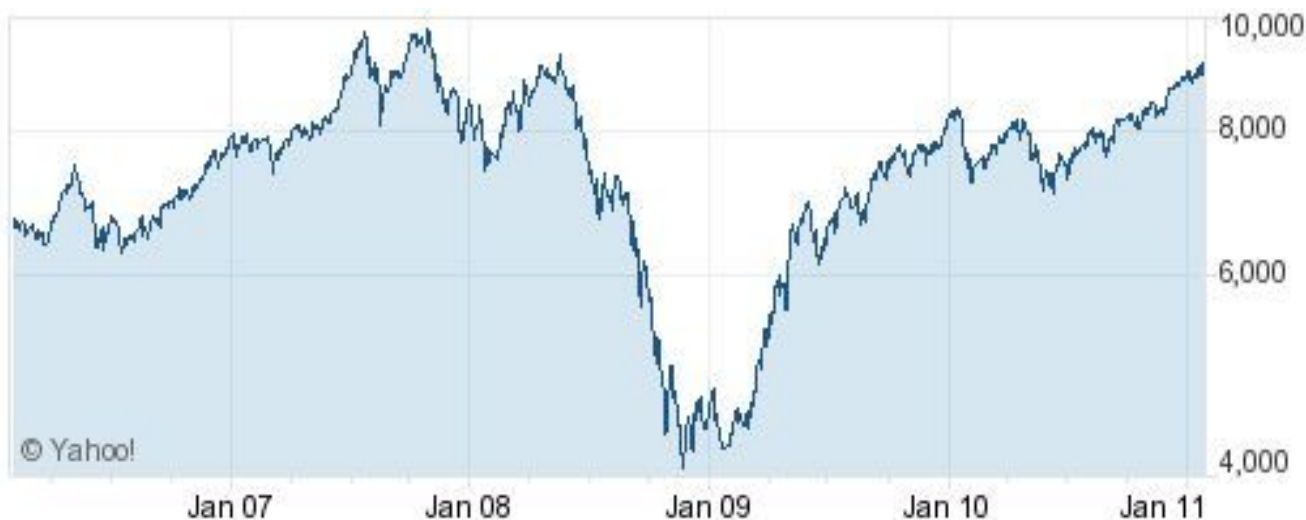
毛投資顧問は、大陸国内需要関連株を推奨。大陸の建設株として潤泰新、LED照明建設関連として艾笛森。食品関連では、統一(7-11、阪急、楽天等が傘下)、南僑。ちなみに先日、レストランで南僑の董事長とお会いした。来週は台湾統一7-11総経理とお会いするので見通しを聞いてみたい。作家の超文氏の注目株は、IFRS(国際会計基準)導入に伴う資産株。国建、南紡、榮運、三商銀、富邦銀(テレビショッピングMOMO)、国泰金、裕隆(日産)。陳さんは大変有名な台積電、そして上電。自動化装置関連である。

■日本のバブル期にも似た台湾株式の状況

皆様に馴染みのない会社名ばかりで申し訳ない。検索サイトで会社名称を入力してみると日本語のニュースも多くある。銘柄をみると台湾の趨勢がはっきりしていると思う。ECFAによる大陸内需関連株。そして台湾・大陸との架け橋となっている株。そして大陸で儲けた台湾人が台湾国内の資産を買いあさり、値が上がる台湾資産株。まさに日本のバブル期を彷彿させる銘柄構成。ちなみに本雑誌で、日本との経済関係を示している人はひとりもいない。“JAPAN Nothing”だ。

私の予想でも今年は、大陸消費がまだまだ伸びるとみる。よって、その影響で台湾景気も日本では考えられないような伸び代がある。今年、台湾で商売をするには、高価でも安全、質感、歴史があるもの。また、新奇なもの、付加価値があるものが良い。台湾人は、過去から、ちょっと上の自分たちの生活を描いている。

一方、リスクとしては、大陸周辺部問題。宗教的リスクだ。ご存知のとおり、エジプト問題は、大陸内で検索できないように規制がかけられている。大陸内部の周辺地域では厳しい締めを行っている。ただし、もし問題が起きても現在の経済的繁栄を支持する人が多いため、押さえ込まれるだろう、と私は予測する。



Yahoo 台湾より 2006年1月より2011年1月末までの台湾株価加権指数

最新上海 ～現地レポート～ 35

春節をよりスムーズに

今年も春節（旧暦の正月）恒例、民族大移動の季節がやってきた。中国での「年越し」とは通常旧暦に基づく春節を指す。年に一度の年越しを故郷の家族とともに過ごすため、都市部で働く出稼ぎ労働者や単身赴任者、学生による帰省ラッシュがあり、これを中国では「春運」と呼ぶ。今年の春節休暇は2月2日から8日までの7日間だったが、春運は1月19日から2月27日までの40日間に及び、昨年より11.6%増加の28億5300万人が帰省や旅行のために交通機関を利用すると予想されている。中国国民は約13億人と言われているので、中国人全員が長距離移動を一往復するよりも多い数字である。主な移動手段は全体の約90%にあたる25億5600万人が利用するバスで、次に鉄道（2億3000万人）、船（3500万人）、飛行機（3220万人）が利用されている。この中で、最も利用率が伸びているのは鉄道である。

鉄道においては、時速300 km以上で走行する高速鉄道の建設は進んでいるものの、運行便数や価格の面からやはり主流は普通鉄道だ。普通鉄道は時速約100 kmで走行し、長距離鉄道となると、一日数本しか運行されない上に、軌道交通は一時的なダイヤの調整にも限界があるので、このような一時的な大量旅客輸送には増便が容易なバスが多いのだろう。

さて、日本では当たり前のように利用されている電子決済だが、中国では今年の春節まで鉄道チケットの支払いは現金払いのみであった。窓口のほか電話での購入も可能だが、春節前になると電話が非常に繋がらなくなるため、団体や家族のチケットをまとめて購入する人が多

い中、大金を持参の上、長蛇の列に並ばなければならなかった。現金ゆえに、偽札や金額の確認による待ち時間の長期化にもなっており、銀聯カードが使用できるようになったことは購入客にとっても歓迎されている。

また今年から、ダフ屋による買占めや不当な転売防止のため、実名提示制度が始まった。これにより、購入には身分証明書の提示が必要で、転売することができないようになった。

高速鉄道は既に日本の新幹線よりも速く、世界第2位の鉄道路線を持つなど、ハードの面では急成長を遂げているが、販売システムや管理体制においては、まだまだ未整備な点が多いようだ。近い将来、クレジットカードでの支払いやオンライン決済などソフト面での更なる充実が検討されている。



故郷の家族のもとへと急ぐ(出所：チャイナネット)

【(株)チャイナワーク 孫】

鳥取県広州食品商談会開催について

中国華南地域のバイヤーへ売り込む

(財)鳥取県産業振興機構では、中国一消費購買力の高い華南地域の中心地である広州において、鳥取県が標榜している「食のみやこ鳥取県」のもと、安全安心、美味で定評のある本県の各種食品の販路開拓を図るため、「鳥取県広州食品商談会」を開催します。

*本事業は、中国経済産業局による平成22年度地域企業立地促進等事業費補助金（地域中小企業海外販路開拓支援事業）により実施します。

■商談会概要

日 程：2011年2月22日（火）～23日（水）
 会 場：広州花園酒店（広州市環市東路368号）
 主催者：財団法人鳥取県産業振興機構
 参加企業：鳥取県企業計13社
 参加バイヤー：広東省及び香港の貿易公司、量販店、料理店など計25社程度

■広東省の基本情報

（出所：日本国駐広州総領事館HP）

総面積：18万平方キロ（日本の約半分）
 総人口（08年末）：常住人口9,544万人
 在留邦人：約14,773人（09年10月）
 進出日系企業：約1,762社（09年10月）
 GDP実質成長率：9.5%（09年）

次号では、本商談会の結果を報告します！



【(財)鳥取県産業振興機構海外支援グループ 早川】

お知らせ

農林水産物・食品輸出 オリエンテーションの会のご案内

★事前ガイダンス

日時：2011年2月28日（月）
13時～18時

会場：ピュアリティまきび（岡山市）

★農林水産物・食品輸出促進セミナー

日時：2011年3月10日（木）
10時～12時

会場：アークヒル岡山

★展示・商談会

日時：2011年3月10日（木）
12時30分～18時

会場：アークヒル岡山

★主催：農林水産省中国四国農政局

★問合せ、申込先：
農林水産物・食品
輸出オリエンテーションの会事務局
電話：086-232-7278
FAX：086-223-7759

ロシアビジネスセミナーのご案内

ジェットロと日本政策金融公庫は、鳥取県の環日本海ゲートウェイである境港市において、ロシア・ビジネスセミナーを開催いたします。ロシアの経済事情や、ロシア国内で製品の販売・流通時に取得が義務付けられるロシア特有の規格GOST-Rについての最新情報を提供します。

★日時：2011年2月21日（月）
14時～16時20分

★会場：夢みなとタワー2階
第3会議室（境港市）

★主催：ジェットロ鳥取

★参加費：無料

★定員：50名

★申込締切：2011年2月17日（木）

★問合せ、申込先：
ジェットロ鳥取（担当 田口）
電話：0857-52-4335
FAX：0857-52-4336

「第4回ものづくり日本大賞」 募集のご案内

経済産業省は、2010年12月15日より、日本のものづくりにおいて製造現場を支える方々を表彰する「第4回ものづくり日本大賞」の応募者を募集しています。

* 応募は候補者本人が行うのではなく候補者を推薦する方（推薦者）が2名の賛同者を得て、申請する必要があります。また、法人格を有する団体も推薦者になることができます。この場合、2名の賛同者を得ることは必要ありません。

★申込締切：2011年2月22日（火）

★問合せ：
近畿経済産業局
産業部製造産業課
ものづくり産業支援室
電話：06-6966-6022
FAX：06-6966-6082

編集後記

先日、香港の銅鑼灣（コーズウェイベイ）にある「そごう（崇光）」に行きました。以前は日本のそごう系列だったのですが、現在は100%現地資本となっているそうです。

春節前で、しかも金曜日の夕方だったせいか、そごうは大変多くの人で賑わっており、地下の食品売り場でも買い物かごに日本食品を詰め込む人をたくさん見かけました。ここで感じたことは、上海と比べると香港の方が日本の食品を手にする人が多い、ということです。香港はフリーポートである故、日本から輸入した物であっても、少し手を伸ばせば届くくらいの価格帯で販売されているのです。また、香港人の食に対する習慣として、一日5食とる人が多いことや、本当に良いものには出費を惜しまないこと、また、共働きが多く外食が多いことも、香港で多くの日本食品が受け入れられる理由に挙げられます。

中国大陸やアセアン地域へのテストマーケティングの場として、その玄関口でもある香港は可能性が大きいと感じました。【zao】

本誌『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでメールでお気軽にお寄せください。また、受信希望（無料）の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構 企業支援部
海外支援グループ（担当：早川）

E-mail：kaigai@toriton.or.jp
TEL：0857-52-6703 FAX：0857-52-6782



とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

■（財）鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ

TEL 0857-52-6703

■ジェットロ鳥取貿易情報センター

TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

■（株）さかいみなど貿易センター

TEL 0859-47-3900

■境港貿易振興会

TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

■境港管理組合港湾管理委員会事務局

TEL 0859-42-3705

■ジェットロ貿易相談デスク

TEL 0859-45-2203